

令和5年度 環境活動スタート事業

1 実施校

いわき市立勿来第二中学校（1学年）

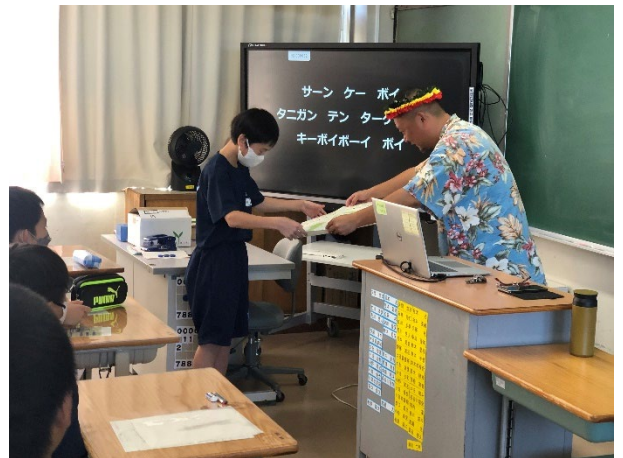
2 実施日

令和5年9月1日（金曜日）

3 内容

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。

キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

キリバスが今どのような事態なのかを知って、今、私にできることを改めて考える必要があると気づかされました。

キリバスで何が起きているか分かりすぎて悲しかった。自分たちで地球温暖化を進めていると思うともっと悲しくなった。この講演を聞いて自分たちにできることを探そうと本気で思いました。

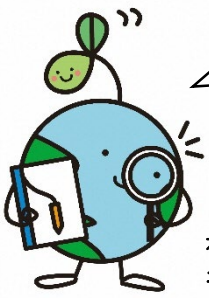
キリバスが地球温暖化によって無くなりそうだという事を聞いて、地球温暖化対策として、僕は、二酸化炭素を減らす活動をしたいと思いました。家に植物を植えたりして、少しでもキリバスのお手伝いをしたいと思いました。

私は、地球の事をよく知っていると思っていましたが、今回の講演を聞いて、地球の現状がさらによく分かりました。この地球の課題を解決していくには、私たち人間が協力していかないといけないので、私もその一員として解決への道を作っていきたいです。

「自分に関係ない」などということではないし、このままの未来では良くないとおみました。なので、一人一人ができることを実践して、より良い未来になればいいと思います。

地球温暖化は、これから被害などが出てくるものだと思っていたけれど、もうすでに被害が出ている国がいっぱいあって、50年に1度くらいの洪水が年に何回か起きているという事実を知り、地球の危機を感じました。そして、島の動画などで笑いながら踊っているキリバスの人達を見て、この笑顔を守りたいと思いました。

講演を聞いて、キリバスの危機を知りました。でも、「外国」の事じゃない、自分が住んでいる「日本」「東北」「いわき」「勿来」という様に、身近に地球温暖化が進んでいる事を知り、他人事じゃないんだなと思いました。子供たちが「ふつうの幸せ」を続けられるように、自分でできることをしていきたいと思いました。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- ごみ拾い
- フードロスの削減
- エネルギーの節約

ほんの小さなことだけど地球温暖化を止めるためだと思いながら行動することができました。回数を増やしたり他の地球温暖化対策にも取り組んでいこうと思います。



- 節電

節電のために、涼しい時には、窓を開けました。太陽などの光があつて明るい時には部屋の電気を消すなどの節電をしました。「節電」は、私の中では、簡単だと思うので、これからも続けていきたいです。



- ごみ拾い

家族で散歩した時に、一緒にゴミ袋を持ってごみ拾いをしました。この一つの取り組みだけで地球が少しずつキレイになっていく事を実感できました。この活動をこれからも続けていきたいと思いました。



- 食べ物を無駄にしない

しっかり「いただきます」「ごちそうさま」の一言一言を心を込めて言いました。そうすることで食べ物への感謝をしっかりとできたと思います。食べ残すことはしないように、これからも続けていきたいです。



- 地域のごみ拾い活動に参加する
- ペットボトルのリサイクルに協力する

学校でのごみ拾い活動に参加し、地域のごみ拾いをしました、活動で少しはごみが減ったと思うのでこれからも続けていきたいです。またごみ拾い以外にもペットボトルのリサイクルをしてごみを減らすなど自分にも出来ることだったので、これからも少しずつ頑張っていきたいと思いました。

